

やさしい解説

# AIT通信

Accounting Information Technology

2007年(平成19年)10月創刊  
第45号 平成23年6月号

カタリム

ゆっく、ゆっく、

あめめる歩み



発行



有限会社エーアイティ研究所

〒969-1169

福島県本宮市本宮字小原田 200 番地 2

TEL 0243-33-5538 FAX 0243-33-4467

URL <http://www.motomiya-mcs.jp/ait/>

E-Mail [info@motomiya-mcs.jp](mailto:info@motomiya-mcs.jp)

## メンテナンス バックアップしましょう！

東日本大震災ではパソコンが落ちて壊れてしまったり、水没などの被害に遭われてしまったりした方もいらっしゃると思います。ニュースの報道や友人から、水没したパソコンからデータを復旧してもらった話などを多く耳にしました。海水に浸かってしまった機器からデータを復旧するのは困難で、高額な作業代がかかりますが、専門のデータサルベージ会社が震災ということで、特別に安い料金で対応してくれた、などの話も聞きました。

今回のような大震災に遭うケースはめったにないとしても、データのバックアップの必要性は、みなさん、感じたことと思います。

### バックアップの頻度は？

さて、バックアップの頻度はどのくらいがよいのでしょうか？ パソコンがいきなり壊れてしまい、会社の重要なデータが取り出せなくなってしまったといった経験のある方ほど、短いスパンでのバックアップを希望されます。毎日ハードディスクを丸ごとフルイメージでバックアップする、なんていう方もいらっしゃいますが、これは保存先の容量も莫大に必要となり、あまり現実的なやり方ではないと思います。せめて、必要なデータが入っているフォルダ（マイドキュメント等）のバックアップを最低でも1ヶ月に1度くらいは行いたいものです。

### Windows が動く間に...

また、Windows 等のOSが起動しないとバックアップできないデータなどもあります。例えばメールの設定データやアドレス帳などがそれにあたります。通常、レジストリに書き込まれているので、ファイルとしての形で取り出しが出来ません。このようなデータは頻繁に更新されるわけではないので、一度、エクスポートしてCD-Rなどに保存しておけば、後々、かなり役に立つと思います。

エーアイティ研究所では、まさかのための備えとなるよう、お客様のデータバックアップのお手伝いをいたします！ 是非、この機会に大切なデータのバックアップをとってみませんか？

## 新製品 外付けハードディスク！

ハードディスクの大容量化が進み、1TB（テラバイト）、2TBの製品が1万円前後で買えるようになりました！ 1TB=1000GBと置き換えれば、どれだけ大容量かが分かります。

これなら、データのバックアップもたくさん取れますね！

### どれを選ぶ？

ハードディスクはその形体から大きく4つに分類することができます。内蔵型、外付け据え置き型、外付けポータブル型、ネットワーク対応型です。

内蔵型はパソコン本体に内蔵して使うタイプです。デスクトップパソコンにハードディスクを増設したい場合などに最適です。

外付け据え置き型はUSB等で接続して使うタイプです。とりあえず1台あればいい、と言った場合に最適です。

外付けポータブル型は、持ち運びに便利なコンパクトなハードディスクです。大容量のデータを持ち運ぶ用途がある場合に最適です。

ネットワーク型はLANに繋げて使うタイプです。複数のパソコンで使いたい場合に最適です。

ご自分の使用環境にあった製品を選んでみましょう。

### 機能も充実！

ハードディスクにはRAID（レイド）という技術を搭載した機種もあります。RAIDとは複数のハードディスクを組み合わせ、データへのアクセス速度を向上させたり、データの安全性・完全性や耐障害性を向上させたりする仕組みです。2台以上のハードディスクを1台のハードディスクのように見せかけて使用するため、値段はやや高めになってしまいますが、その分、データの安全性は格段に向上します。

また、ユーザー側は特別なにも意識せずに普通の外付けハードディスク同様に使用することができます。

大容量化・低価格化した外付けハードディスク、重要なデータのバックアップや日々のバックアップに最適ですよ！

**編集後記** 梅雨です。じめじめ蒸し蒸しする嫌な季節ですが、私は雨音が結構好きです。しとしと音も立てずに降る雨もあれば、ザーザーと轟音を響かせる雨もあります。どちらもとても情緒があって好きです。ついでに言うと、車のワイパーがフロントガラスと擦れるキュッ！キュッ！という音も好きです。音楽家にも雨を主題に曲を作る人がたくさんいますね。ショパンの雨だれなどはこの季節にピッタリですよ。外出できない雨の日は物静かに音楽鑑賞などいかがでしょう（本田）